

新年の ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、市政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また昨年は、不要不急の外出自粛やイベントの中止、公共施設の休館、学校の臨時休校、お店の休業・営業時間短縮など、市民の皆様には新型コロナウイルス感染症対策にご理解・ご協力をいただきました。

国・府におきましては、国民への給付金、企業の持続、雇用の確保、休業に対する支援などが行われ、本市といたしましても、上下水道基本料金の免除、新生児への10万円給付、中小企業への10万円給付、テレワーク導入の助成、地元商店の活性化、学校へのサーモグラフィー設置、行政のデジタル化など、暮らし・経済への支援や新しい生活様式に向けた取組みを進めて参りました。

昨秋より、全国的に感染者数が増加し、病院では日夜献身的な医療活動が続けられています。

医療に従事する皆様、さらには福祉・子育て・教育現場の皆様には心から敬意を表します。

命、暮らしを社会全体で守るために、市民の皆様には、感染予防・感染拡大防止へのご協力、また、感染者やその家族の方々へのご理解をよろしくお願い申し上げます。

近年、全国各地で自然災害が発生し、昨年の7月豪雨では広範囲で甚大な被害となりました。被災地の早期復旧・復興をお祈り申し上げます。

日頃の備えで命・財産を守る“減災”を進めるために、3年前に本市で初めて総合防災マップを発行しましたが、昨年、土砂災害に加え水害のハザードマップを追加

した改訂版を全戸に配布致しました。

昨年、行事の多くが中止となりましたが、健康・長寿をお祝いする老人福祉大会は、関係者の多大なご協力のもと開催し、「元気アップ体操クラブ」の動画配信や無料での高齢者インフルエンザ予防接種など、コロナ禍の中での健康維持に努めました。

さて、交野市は、今年11月に市制施行50周年を迎えます。

先人達が築き上げてきたまちの魅力を高め、交野を次世代へとつないでいかなければなりません。

昨年民営化した認定こども園は、この春に新しい園舎となり、入所定員も増え、待機児童の解消に向け一歩前進することになります。

学校教育のICT化が進められる中、本市では近隣市に先駆けてタブレットの配布を始め、この冬には全児童・生徒に1人1台行き渡ります。

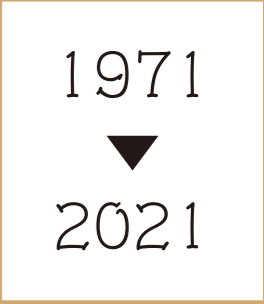
第2京阪国道の全線開通から10年が過ぎ、星田北エリアでは、住民誘致や企業誘致につながる都市基盤整備が着実に進められています。子どもが元気に育つまちに若い世代が集い、現役世代と高齢世代が支え合う持続可能な地域社会を目指して参ります。

引き続き、国・府と連携し、感染症対策に取組みながら、安全・安心で健康な暮らし、地域の活力維持、さらには交野の成長にむけたまちづくりを、今年も市役所一丸となって進めて参りますので、市政運営に変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりましてお健やかで幸多き1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

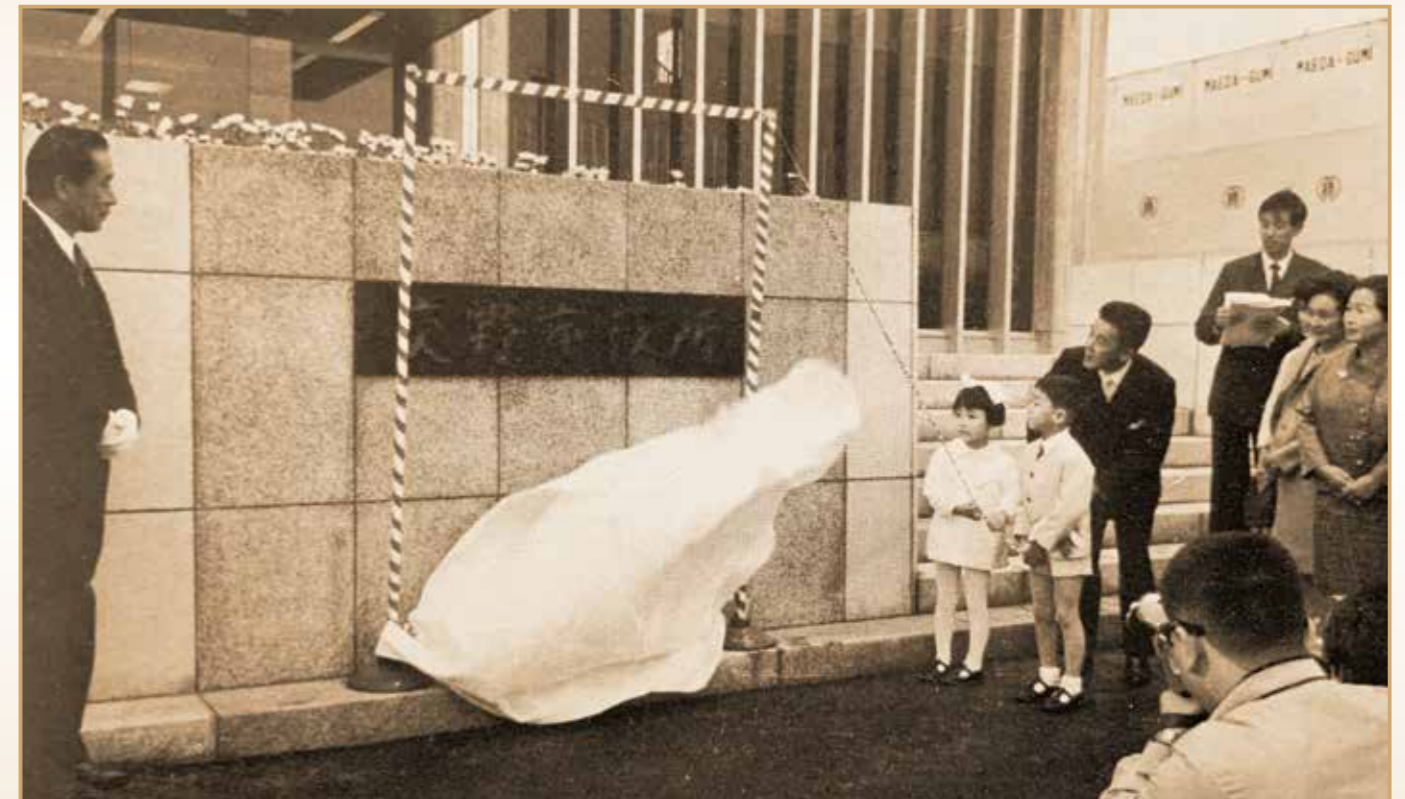
交野市長 黒田 実

今年市制施行50周年です

交野市50年の歩み



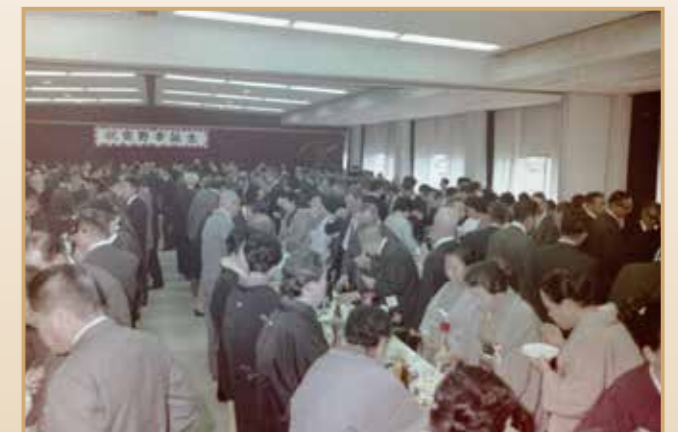
1971年11月3日、交野は「交野町」から「交野市」に変わり、府内で31番目の「市」になりました。今年2021年、市制施行50周年を迎える年になります。この50年、昭和・平成・令和と時代は変わり、大きく変わったもの、変わらず在り続けるもの、さまざまな時間の重ね方をしてきました。そんな交野市50年の歩みを振り返ります。



市役所の除幕式



市制施行を祝う消防車のパレード



市制施行を祝うパーティー